

6 指標や目標値の設定と評価方法

(1) 指標・目標値の設定

本市のまちづくりの基本的な考え方や目標の実現に向けた指標・目標値を設定します。

【居住誘導に関する指標】

指標	居住誘導区域内の人口密度	
	少子高齢化が進行し、人口が減少に転じることが推測されるなか、中心拠点や地域拠点の生活利便性の享受や公共交通の利用しやすい居住誘導区域内への居住誘導を図ることで、平成 27 年（2015 年）の実績値と同程度となることを目標とする。	
現況値	平成 27 年（2015 年）	73.6 人/ha
目標値	平成 52 年（2040 年）	73.6 人/ha

【都市機能誘導に関する指標】

指標	小売業中心性指数 商業統計	
	市外への購買力の流出傾向が大きくなるなど中心拠点や地域拠点の求心力が低下するなか、商業や業務機能のほか文化機能や公共サービス機能の導入などを通じて拠点性を高めることで、購買力の流出をおさえ平成 27 年（2015 年）の実績値の 3 割程度の増加を目標とする。	
現況値	平成 27 年（2015 年）	54.9
目標値	平成 52 年（2040 年）	70.0

【公共交通利用に関する指標】

指標	主要停留所乗降客数 市統計書	
	少子高齢化の進行に伴い路線バスによる通勤・通学利用者の減少が見込まれるなか、高齢者をはじめとする移動弱者の移動手段の確保に向けて路線バスの利用促進施策を講じることで、中心拠点、地域拠点にある松井山手駅、新田辺駅、京田辺駅、三山木駅におけるバス停留所の乗降客数を平成 27 年（2015 年）の実績値と同程度となることを目標とする。	
現況値	平成 27 年（2015 年）	247 万人/年
目標値	平成 52 年（2040 年）	247 万人/年

(2) 評価方法

本計画は、概ね 20 年後の都市の姿を展望したものであり、目標年度は平成 52 年（2040 年）と設定しています。そのため、本計画の実現に向けて PDCA の考え方にに基づき、概ね 5 年毎に目標値の達成状況や施策、事業の実施状況に係るチェックを通じて評価を行うものとします。

なお、計画の評価を通じて見直しが必要と判断された場合には、必要に応じて適宜、改定を行うものとします。